資料1－12

MS&ADグループの
生物多様性に関する取組について

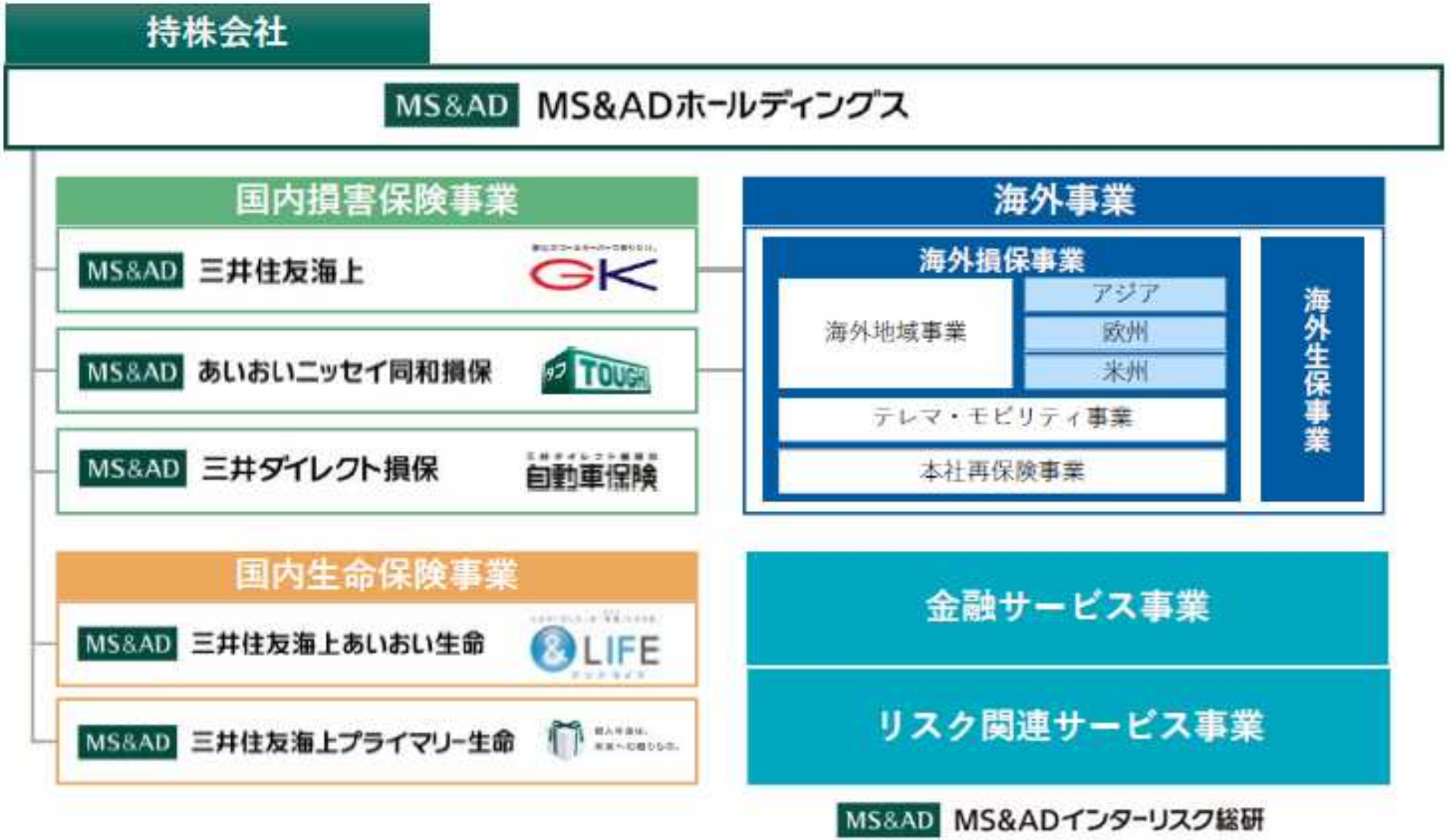
2021年12月17日

MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス 株式会社
総合企画部サステナビリティ推進室

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

MS&ADインシュアランス グループについて

MS&AD



Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

MS&ADインシュアランス グループについて

MS&ADインシュアランスグループを表す数値　（2021年3月末現在）

世界トップ水準の保険・金融グループ
(億円)

正味収入保険料
35,009

経常利益
3,065

純資産
31,266

強固な財務基盤による高い格付け

S&P グローバル・レーティング・ジャパン
A+

ムーディーズ・ジャパン
A1

日本格付情報センター(R&I)
AA

圧倒的な顧客基盤を持つ国内市場

国内No.1の顧客数
4,400万名(個人)
250万社(法人)

国内No.1の代理店ネットワーク
83,073店

成長を支える基盤

全世界の従業員数
41,501名
(内、海外従業員 9,230名)

グローバル従業員比率
22.2%

女性管理職比率(国内)
16.1%

ESG取組みへの評価

MSCI ESG Rating
AA

CDP
AList

DJSI (World/AP)
World/APに選定

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

MS＆ADインシュアランス グループについて

MS&ADインシュアランスグループの目指す姿

経営理念（ミッション）	**グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます**
経営ビジョン	**持続的成長と企業価値向上を追い続ける世界トップ水準の保険・金融グループを創造します**
行動指針（バリュー）	**お客さま第一**　**誠実**　**チームワーク**　**革新**　**プロフェッショナリズム**

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

サステナビリティ課題への取組み

ＥＳＧを経営計画に組込み ⇒ ＥＳＧインテグレーション

「価値創造ストーリー」を紡ぐ企業活動を通じて、社会との共通価値を創造し
（CSV：Creating Shared Value）、2030年に目指す社会像を実現する。

社会的課題
社会をとりまく
多様なリスク

2030年に目指す社会像
レジリエントでサステナブルな社会
安定した人々の生活
活発な事業活動

MS&ADのビジネスモデル
安心・安全の提供
グローバルな保険・金融サービス事業
５つの事業ドメイン
- 国内損害保険事業
- 国内生命保険事業
- 金融サービス事業
- リスク関連サービス事業
- 海外事業

リスクを見つけ伝える
経済的な負担を小さくする
リスクの発現を防ぐ・影響を小さくする

社会との共通価値を創造
- ■新しいリスクに対処する
- ■事故のない快適なモビリティ社会を作る
- ■レジリエントなまちづくりに取り組む
- ■「元気で長生き」を支える
- ■気候変動の緩和と適応に貢献する
- ■自然資本の持続可能性向上に取り組む
- ■「誰一人取り残さない」を支援する

社会の信頼に応える品質

社員がいきいきと活躍できる経営基盤

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

MS&ADのサステナビリティ、ESGへの配慮

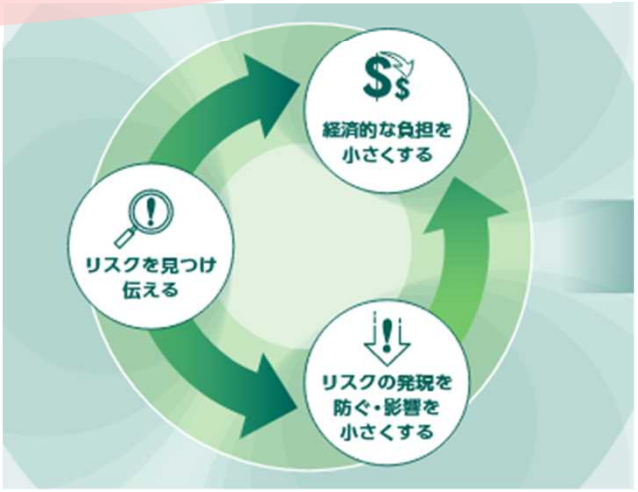
◆グループ中期経営計画「Vision2021」

2030年の目指す社会像

「レジリエントでサステナブルな社会」

MS＆AD「価値創造ストーリー」により
ミッションの実現に取り組むことを明確化

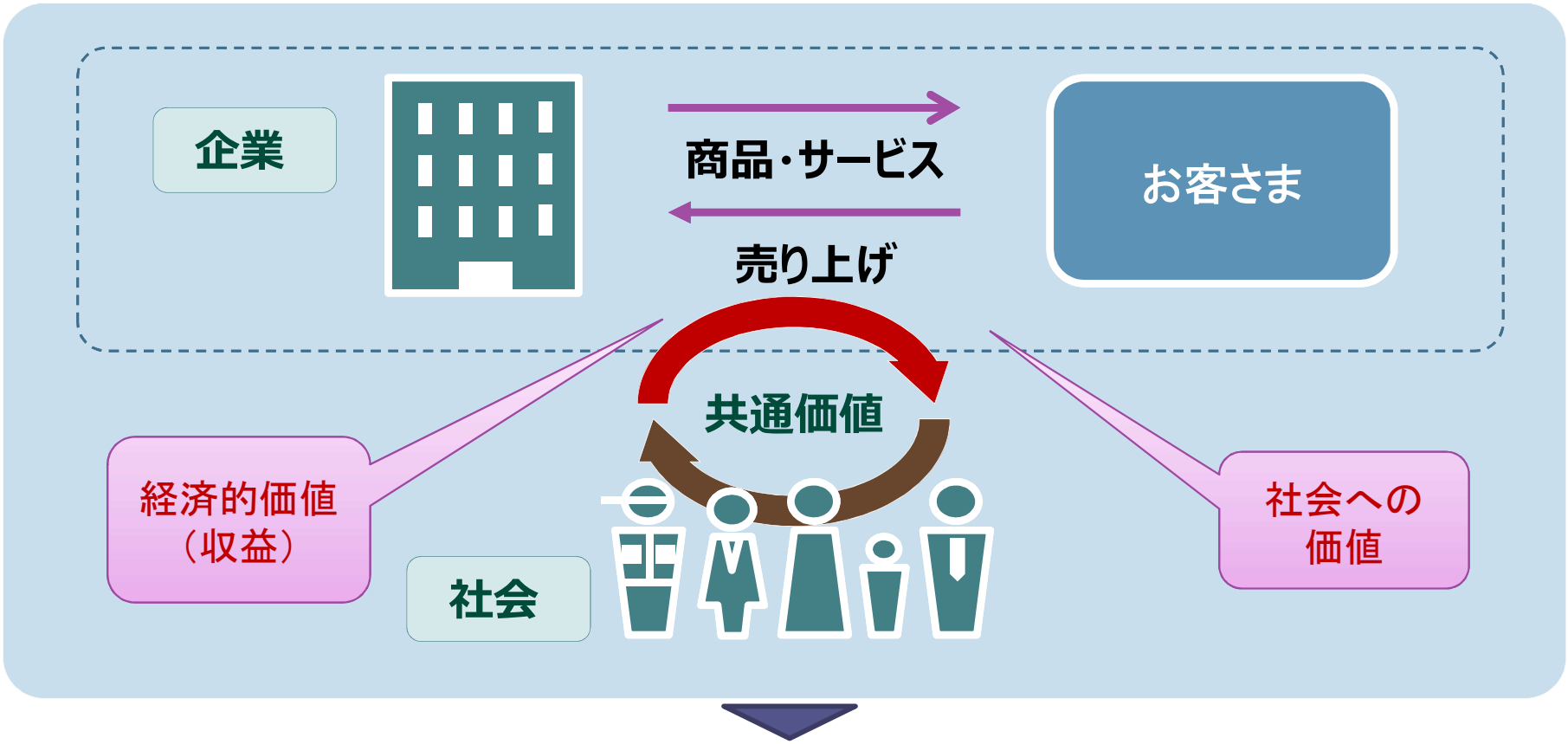
MS＆ADグループ経営理念
（ミッション）



Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

CSV：社会との共通価値の創造

CSV（Creating Shared Value)は、企業が存在する基盤である社会に価値をもたらすことで、企業自身も経済的価値（収益）を生み出し、それによりさらに社会に価値をもたらすという、**「双方向で持続性」**のある活動を目指す概念。

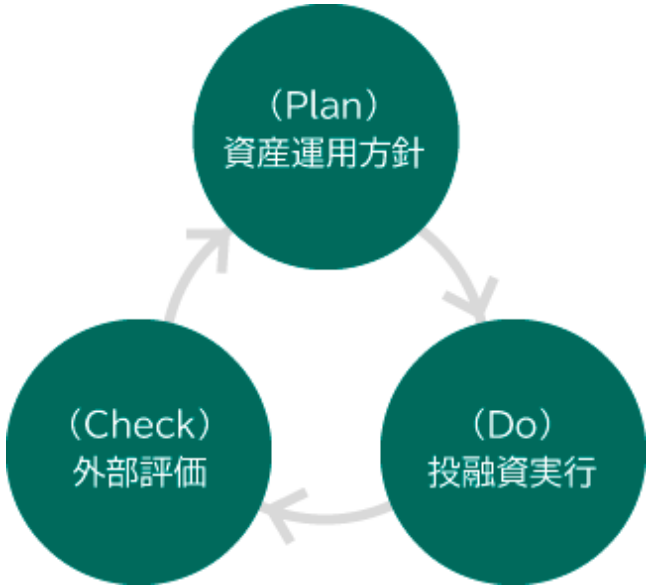


Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.
Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

ESG投融資の取組み

1．ESG投融資の運営体制、手法

【運営体制】



【当社で分類しているESG投資の手法】

ESG投資手法		内容
インテグレーション		投資プロセスへのESG要素の体系的な組込み
	ネガティブ・スクリーニング	特定の資金使途・業種をポートフォリオから除外する枠組みを構築
	リサーチへの組込み	企業分析・評価においてESG要素を体系的に組込み
建設的な対話		スチュワードシップ活動を中心に対話を実施
テーマ型投資		収益性を前提とした、社会課題解決につながるテーマを持った資産等への投資
	サステナブル・テーマ型投資	サステナビリティに関するテーマ、組織、資産等に対する投資
	インパクト投資	運用収益の獲得と社会的インパクトの創出（社会構造変化等）の両立を意図して投資判断を行う投資手法

- 「サステナビリティの考えた」を踏まえ、「気候変動」、「自然資本」、「人権」の優先課題に対応するESG要素を決め、投融資プロセスに組込む。
- 「自然資本」の領域で優先するESG要素は「森林」、「水」

2．ESG投融資取組の強化

- 投資先企業との対話にESG要素を組込む
- 収益性を前提とした社会課題解決に繋がるテーマを持った資産への投資の拡大

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

MS&ADの生物多様性への取組み

COP10愛知　　COP15

2005　2007　2008　2010　2012　2016　2018　2021

「いきものがたり」
第１回開催

JBIB発足

企業と生物多様性イニシアティブ

MS&ADラムサール
サポーターズ

インドネシア熱帯林
再生プロジェクト

駿河台新館竣工
生物多様性に配慮した緑化

自然資本
宣言に署名

「自然資本の維
持可能性向上」
を優先課題に

TNFD参画

Taskforce on Nature-related Financial Disclosures

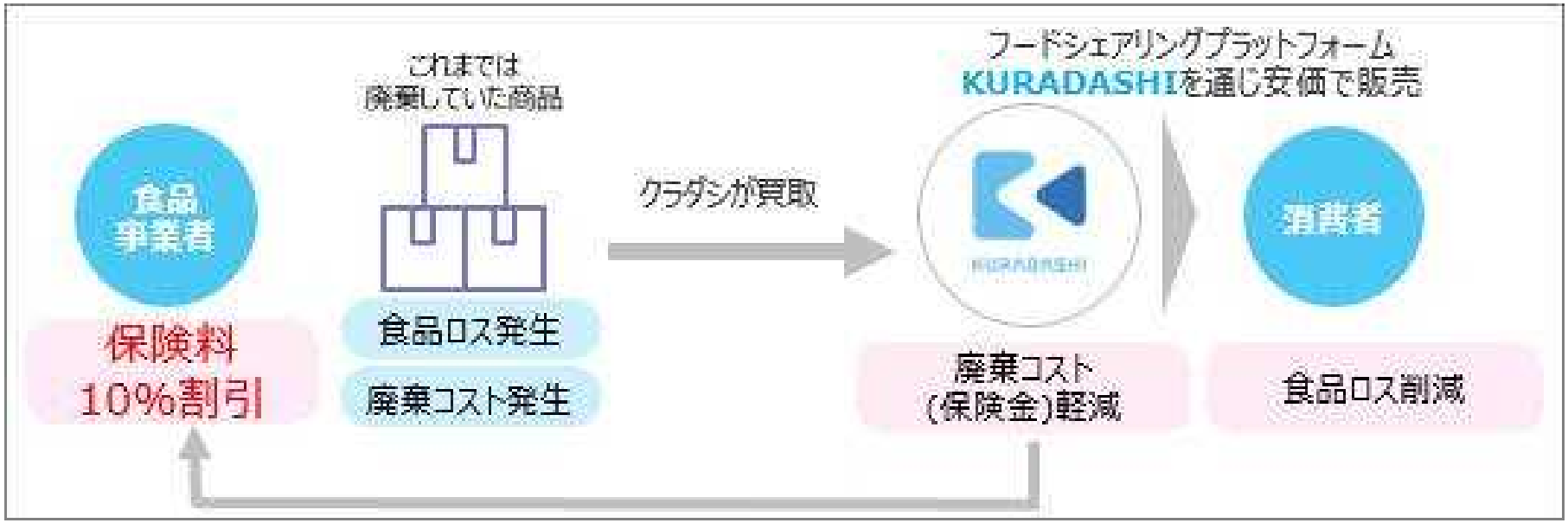
サステナブル
シーフード導入

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

生物多様性に貢献する商品・サービス ①

食品事業者向け 生産物回収費用保険「食eco」

社会貢献型フードシェアリングプラットフォームを運営する株式会社クラダシと提携し、食品事業者向け生産物回収費用保険を提供しています。食品事業者が消費期限の誤表示等によりリコールを実施する際、品質に問題がない食品をクラダシが買い取ることによって食品ロスを削減すると同時に、廃棄コストが軽減できることから、保険料を10%割引しています。食品ロスは世界的に注目される社会課題の一つであり、通常であれば廃棄される食品を有効利用することで、食品ロスの削減に貢献します。



Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

生物多様性に貢献する商品・サービス ②

MS&AD

事業活動による自然資本への影響を分析・評価し、持続可能な関係構築に向けたコンサルティングを実施

生物多様性 総合コンサルティング

生物多様性 コンサルティングの構成

1 生物多様性　マネジメント支援コンサルティング　（マネジメント全般）

事業全体の生物多様性リスクの分析・評価と取組み内容の提案。継続的な改善を進めるためのマネジメントシステム構築の支援

2 生物多様性　調達リスクコンサルティング　（個別テーマ）

海外の原材料調達先や工場立地場所の選定のためのリスク評価

3 生物多様性　ビジネスチャンス分析　（個別テーマ）

生物多様性関連のビジネスチャンスにおける今後の可能性を提示

4 生物多様性 貢献型　土地利用コンサルティング　（個別テーマ）

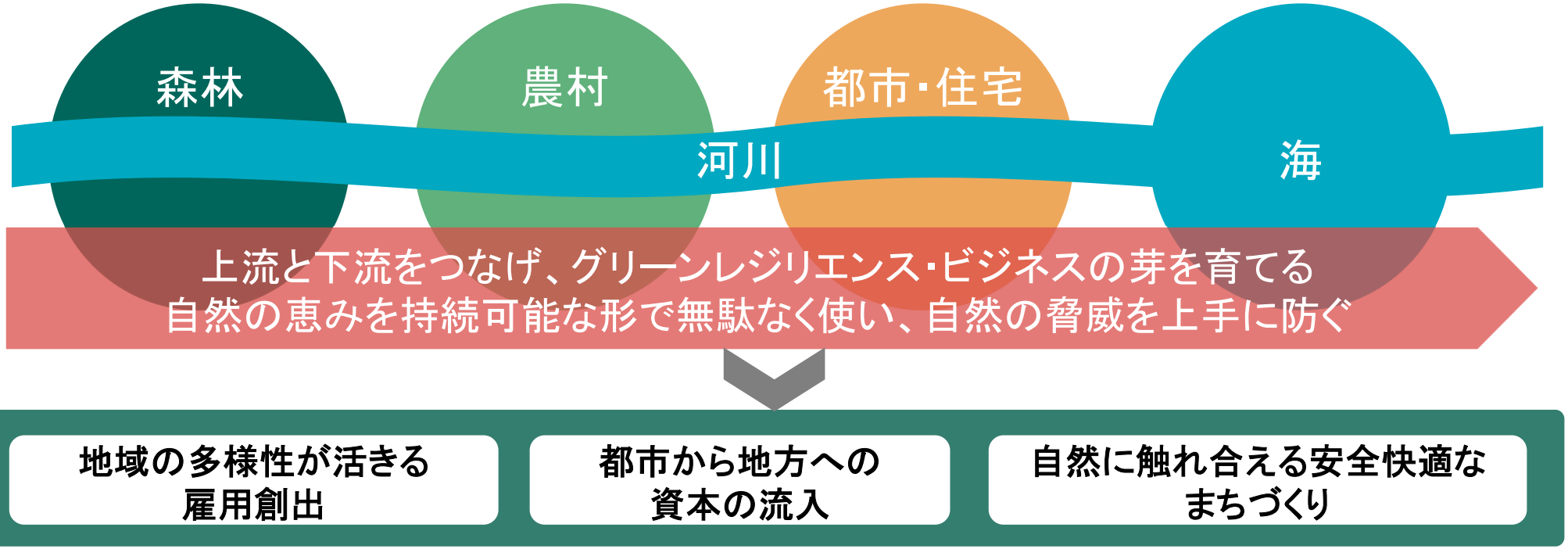
現在の事業所・社有地等の環境を活かし、計画的に生物多様性を高めるための調査・分析から整備・活動計画の策定まで総合的な支援

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

外部連携による取組み ①

MS&AD

「グリーンレジリエンス」：自然資本を活用して防災・減災と地域創生を同時実現



・大水災後の持続的な地域の復興を目指す。
・地域の自然を活かした防災減災と産業創生を目指す。

ドローン撮影データに基づき作成された球磨川流域の３Ｄモデル

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

外部連携による取組み　②

（2018年～）

大学共同利用機関法人人間文化研究機構
総合地球環境学研究所

実践プロジェクト　フルリサーチ
「人口減少時代における気候変動適応としての生態系を活用した防災減災（Eco-DRR）の評価と社会実装」

– 自然災害リスクの可視化（過去・現在・将来）
– Eco-DRR多機能性の評価・予測
– 超学際的シナリオ分析とEco-DRR利用の社会・経済的インセンティブの開発

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

外部連携による取組み ③

球磨川流域治水プロジェクトへの参画

（2021年～）

熊本県立大学が代表を務める「緑の流域治水」研究プロジェクト※に参画。

- 河川への雨水の流出や河川の氾濫流を制御する技術の開発、デジタル技術を活用した防災情報の収集と発信、流域の環境再生、農林水産業や観光業をはじめとした地域の産業創生を推進。

- 同研究プロジェクトは、文科省のファンディングエージェンシーである国立研究開発法人科学技術振興機構（ＪＳＴ）の「共創の場形成支援プログラム 」に採択され、10年間の助成（最大2億円／年）が決定。

- 当社グループは、産業創生の支援、研究、環境再生の支援、研究、防災関連サービスへの活用、保険商品やサービスの開発の検討を進めていく。

※「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

外部連携による取組み ④

MS&AD

保全地域の新しい考え方「OECM」をJBIBのWGで研究 （2021年～）

目指すゴール

- ポスト愛知目標となる予定の「保護・保全地域を30%とする」という2030年目標（30 by 30）を達成する手段について産官学で共創するしくみを構築する。
- 有力な達成手段であるOECMについて、JBIB（企業と生物多様性イニシアティブ）会員が実践を通じて体得し、国内外の他地域でも産官学のプロジェクトを自らマネジメントできるようになる。
- 2023年秋のTNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）の運用開始を見据え、情報開示に応えられるOECMによる生物多様性保全効果の測定・定量化手法を産官学で確立させる。
- 気候変動対策も測定できることから、グリーンインフラ、Eco-ＤＲＲの視点から、JBIB会員の気候（災害への）適応に関する投資家への情報開示ノウハウとして整理する。

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

普及啓発活動

2007~

「企業が語るいきものがたり」シンポジウム

生物多様性の保全活動をテーマにシンポジウム「企業が語るいきものがたり」を毎年開催し、企業が生物多様性の保全に取り組むための情報提供を行っています。

2018 Global Canopy / CDP Japan 共催

「ESG投資と自然資本リスク」

～投資家による森林破壊リスクの評価とその対応～

2019 人間文化研究機構総合地球環境学研究所「人口減少時代における気候変動適応としての生態系を活用した防災減災（Eco-DRR）の評価と社会実装」プロジェクトと共催

「Eco-DRR ×金融・保険公開シンポジウム」

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

自然資本に関わるイニシアティブ等の取組

国内のイニシアティブ

2007 第１回「企業が語るいきものがたり(生物多様性シンポジウム)」を開催
以降毎年開催し、2021年2月までに14回開催

2008 JBIB（企業と生物多様性イニシアティブ） 設立
現在MS&ADが会長（設立当時は三井住友海上）

-サプライチェーン、土地利用、情報発信など、ビジネスと生物多様性に関わるさまざまなテーマをワーキンググループ形式で取り組む

国際的イニシアティブ

2016 自然資本宣言に署名、NCFAに参画

-自然資本評価における最新研究を参考にリスク評価手法を開発

2021 企業の財務情報開示と生物多様性 「TNFD」

-自然関連の財務情報を開示する国際的な枠組み（TNFD）の検討がスタート。国内唯一のTNFDメンバーとして当社社員が参画。またTNFDフォーラムにも参加し、ネイチャーポジティブな資金の流れを作ることに貢献していく

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

グループにおける植林活動

インドネシア熱帯林再生プロジェクト

2005年4月～[ジャワ島パリヤン野生動物保護林]

生態系の回復とともに地域住民と共存できる「森林の再生」を目指し、350ヘクタールに約30万本を植樹しました。

■ プロジェクトの特徴

- インドネシア環境林業省と日本の民間企業として初の連携
- １４年間で約3.2万トンのCO2を吸収、地球温暖化防止に貢献
- 鳥や蝶等のモニタリング調査を地元大学に委託
- 森を守るため、教師とその生徒に環境教育を実施
- 再生した保護林の維持管理と、地元農民への農業技術指導、育林・植林方法の指導等を通じた自立支援等も推進

北海道・美幌町植林

ペーパーレス保険証券・Web約款の寄付取組として、北海道美幌（びほろ）町において、植林活動「あいおいニッセイ同和損保の森」を2019年8月にスタートしました。樹齢50年をむかえ伐採のタイミングとなった針葉樹（主にトドマツ）に代えて広葉樹への植え替えを行い、生物多様性に配慮した森づくりを支援しています。

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

三井住友海上本社ビルの緑化取組

MS&AD

・1984年3月、中央大学の跡地に竣工
「地域に緑をたくさんつくってほしい」という地元の声
・前庭、街路樹のほか低層棟屋上に回廊式の庭園を設置
・約100種類ほどの樹木、草花を植栽
・約2500㎡の屋上庭園、土壌厚平均1m
・空隙率は少なくとも30%
→屋上庭園の緑化貯留量　約750㎥
・貴重な野生生物「ヒメアマツバメ」がビルに営巣していることが確認されている

・敷地内にレインガーデン・モデルを設置
・こうした取り組みから2018年雨水まちづくりサポートの「RaCS雨水活用サイト認証」でエメラルドレベルとして認証（第1号）

三井住友海上駿河台ビル屋上庭園と駿河台緑地

三井住友海上駿河台新館前
レインガーデン・モデル

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

社員よるボランティア活動

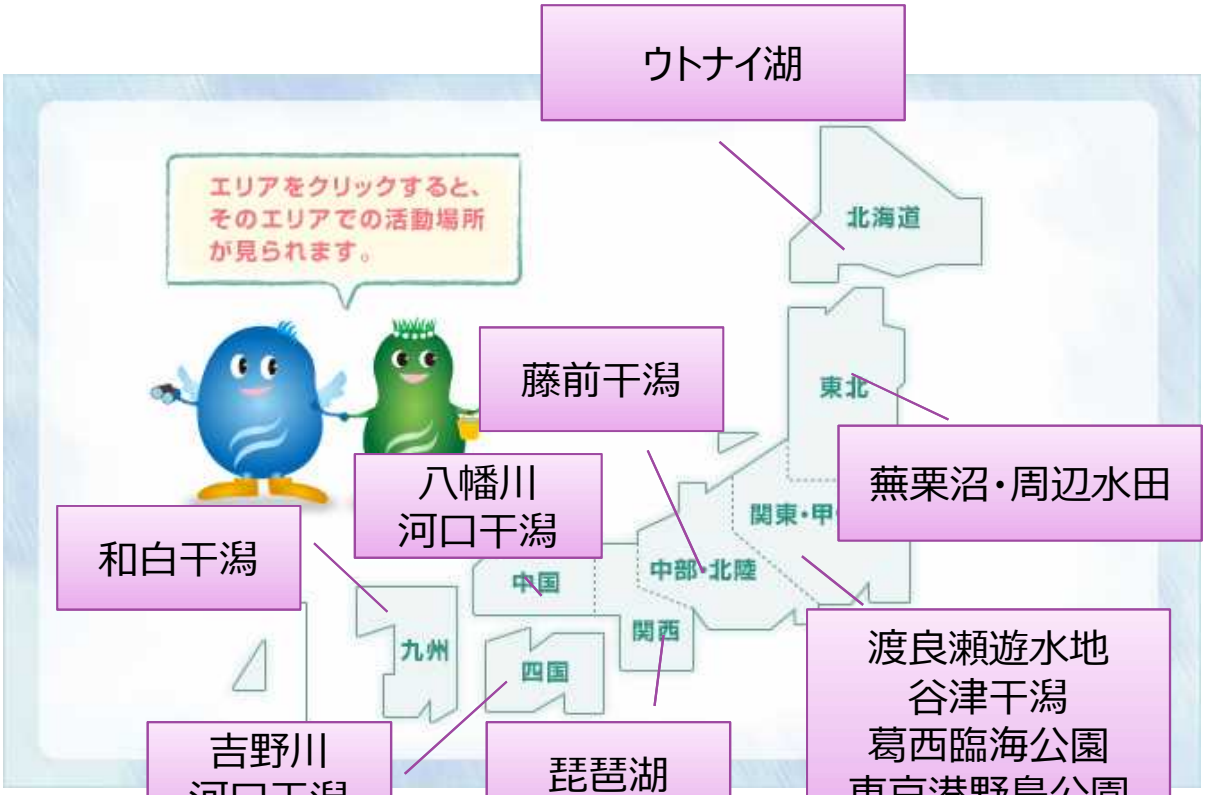
2010年度 MS＆ADインシュアランス グループ発足を記念し、新たに立ち上げた活動

全国１１か所のラムサール条約等の湿地で活動を実施

－生物多様性保全

－水害の減災機能

MS&AD ラムサールサポーターズ

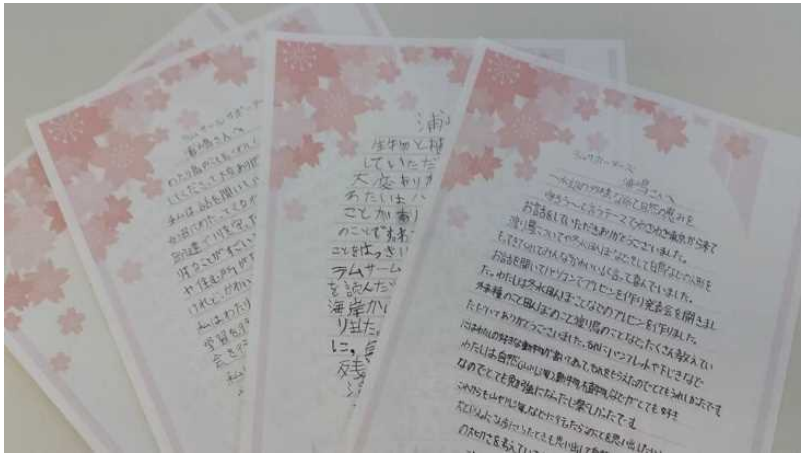


Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

環境教育の推進～出張授業

水辺の生物多様性の大切さ
自然と共生する知恵の大切さ

子どもたちに伝えたい！⇒　環境教育プログラムの作成



▲小学校の生徒から送られた感想文

「第5回グッドライフアワード」環境大臣賞
（企業部門賞）

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.

ご清聴、ありがとうございました

Copyright © MS&AD Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.